

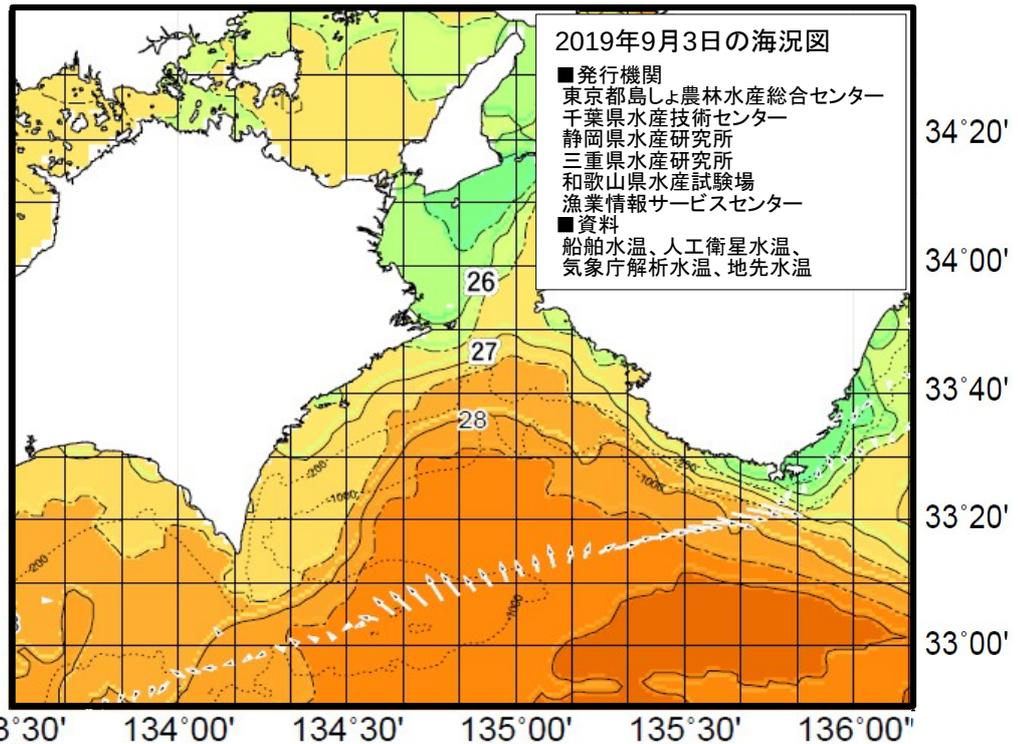
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖では8月30日頃から「著しく離岸」となり、四国沖を大きく迂回する流路となった。潮岬沖でも3日には「著しく離岸」となっている。

3日現在の徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で26℃台、紀伊水道で25℃台、海部沿岸で26℃～27℃台となっている。

黒潮の表面水温は29℃台。
紀伊水道外域中央に暖水が波及している模様。



※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 25~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

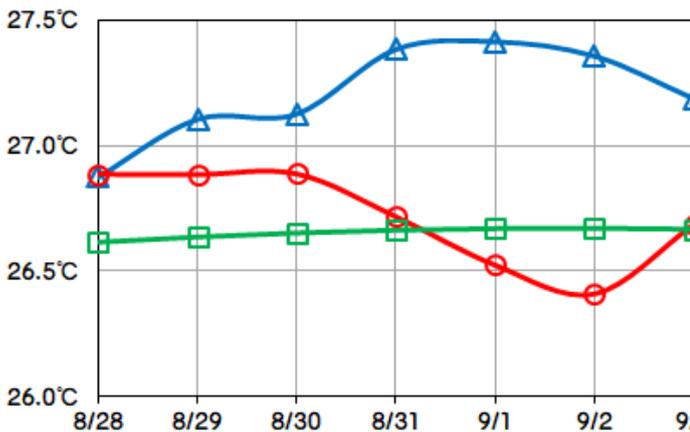
2. 地先水温(8月28日~9月3日)

一年で最も水温が高い時期となっている。

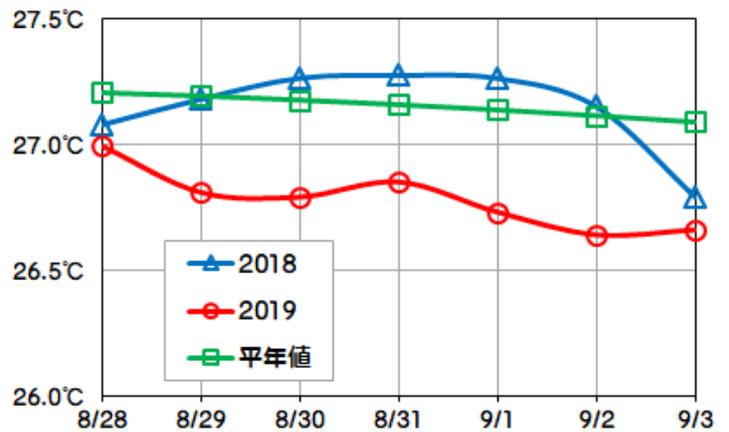
鳴門地区の水温は「平年並み」の26.7℃~26.9℃で、気温の低下に附合して30日以降下降傾向だったが、これも気温の上昇に合わせて2日以降やや上昇している。

日和佐地区の水温は、「平年並み」の26.6℃~27.9℃で、下降傾向で推移している。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月4日~9月10日)

黒潮は、室戸岬沖では「著しく離岸」のち「離岸」、潮岬沖ではおおむね「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2019年8月26日～2019年9月1日

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが56.3ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.4ト、タチウオが減って0.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが4.7ト、タチウオが減って1.5ト、サワラが0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて1ト、カンパチが0.8ト、ブリが大きく減ってつばす級主体に0.7ト、ボラが大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って6.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが大きく減って0.2ト、カンパチが増えて小主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく減って小小主体に0.3ト、メアジが大きく増えて0.3ト、マルソウダが0.3ト、カンパチが大きく減って小主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	56,250	563		→
	釣り	20	イサキ	436	22	大主体	↘
		12	タチウオ	257	21		↘
	延縄	45	ハモ	4,701	104		→
		51	タチウオ	1,461	29		↘
		16	サワラ	138	9		→
	小型定置網	23	マアジ	1,009	44		↗
		24	カンパチ	794	33		→
		15	ブリ	722	48	つばす級主体	↘↘
		5	ボラ	111	22	大主体	↗↗
底びき網	22	ハモ	6,334	288		↘	
海部沿岸	釣り	8	タチウオ	164	21		↘↘
		22	カンパチ	140	6	小主体	↗
	延縄	30	アカムツ	244	8		↘
	小型定置網	8	かます類	335	42	小小主体	↘↘
		9	メアジ	311	35		↗↗
		12	マルソウダ	270	23		→
		16	カンパチ	177	11	小主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘